

Chocolat 通信

2014年 7月号



演奏会をふり返って

K'mio talks

「ショコラの団員であることが誇りに思えるように」

演奏会も終わって、ちょっと気が抜けていらっしゃる方もいるかも知れませんが、合唱団はもう次の演奏会に向けて動き出しています。先日の演奏会を踏まえてこれからの方針として、「練習中に音取りの時間は設けない」という目標を掲げて行きたいと思います。これはショコラに限らず他でもそうして行こうと思っていますが、練習で音取りをするのは正直なところ、大変時間の無駄が生じます。出来る人程無駄に感じると思いますが。黒岩くんが音取りの音源を一生懸命作ってくれていますが、それも最大限活用して、無駄の少ない練習時間を目指しましょう。それが合唱団全体のレベルアップにも繋がると思いますが、引いては合唱団員一人一人のモチベーションアップにもなるとおもいます。ショコラの団員であることが誇りに思えるよう、一人一人が頑張りましょう！

佐々木 団長の 断腸の思い

「演奏会を終えて」

10周年演奏会お疲れ様でした。それぞれ出来不出来はあったと思いますが、演奏会という特別で素晴らしい時間と空間をお客様と共に共有できたことに改めて感激しながらも皆様に感謝申し上げます。10年前ショコラが出来た頃はなかなか団員も集まらず、辛抱の時期が続きました。立派なホールでの10周年演奏会が実現できることを夢見て毎週の練習をしていたことを思い出します。振り返ってみますと、合唱とは急速に進歩するような魔法は無く、上達するには毎週の練習の積み重ねと個々の日々の努力しかありません。ショコラも暗い森の中を彷徨っているような気がした時もありましたが、あきらめずに歩み続けた結果、今は視界が晴れて回りを見渡すことができるようになったと思います。そして次に目指す頂きも皆様には見えてきたことでしょうか。次なる高峰を目指してさらに精進を続けましょう。

(佐々木 晋)



パトリ真語

TENOR 佐々木 晋

今回の演奏会ではテノール 4 名でまとまりがあり特徴も出せた演奏ができたと思いますが、反省点はフォーレで落ちた部分があったこと。周りに合わせ過ぎて(?)の失敗ですが、音程も時々低い方に全員合わせてしまう場面もあったようです。内声で高音という難しいパートではありますが、自信を持って歌っていきましょう。ただし、たまに私もやりますが自信を持つての間違ひには要注意、です。

SOPRANO 阿部 紀世

無事 10 周年の行事が終わりました。新しい人も入団し、次に向けて新曲の練習も始まりました。幸い今回は教会で響きも良く、気持ちを込めて歌い、指揮のままに流れ、特に後半は先生の指揮とひとつになれ成功したと思いました。それはまさに暗譜の力による物だと気づきました。

私にとって暗譜は 1 つの大きな作業でした。まず詩の朗読から始めました。次に何回か歌ってみて①番と②番の言葉の違いを見つける。1 週間経つとすっかり忘れてしまうので、また繰り返し。1 ヶ月前は疑心暗鬼でしたが自分を信じ日々取り組みました。台所で、バスの中で、お風呂の中で。自然に口ずさんでいました。もうそうなればしめた物です。

どうぞみなさん、暗譜に取り組んでみてください。

ALTO 金成 素子

今回の演奏会では、アルトの魅力は少しはお伝えできたかと思っています。皆で正しい音程を確認しながら練習したかがありましたね。また、アルトの「大人の女性(声)の魅力」も少しはお伝えできたかな?

今回の演奏会で強く感じたのは、やはり楽譜を持たずに歌うことは歌に対しての心構えが観客に伝わるということでした。後半のステージがよかったのはそれが大きいです。楽譜は演奏するものと聴く人の間を分ける小さな壁のようなものだと思います。

年を重ねると記憶力も落ち、暗譜は大変ですが、暗譜をすることで神尾先生の指揮に没入することができ、歌うことの喜びを肌で感じることが出来ます。がんばりましょう。

BASS 古川 智久

先日は演奏会お疲れさまでした。本番を迎えて、客席に座っている観客の方々を見ると、合唱というものが、誰かに歌を通して何かを伝えることで成り立っている芸術であることを改めて実感しました。

これからはまた次の演奏会へ向けて練習していくこととなりますが、普段の練習も演奏会と同じように、自分だけで歌うのではなく、自分のパートやほかのパートの人たちの歌い方を聞きながら、それぞれが自分の思いを歌を通して伝え、それが合唱団として美しいハーモニーとなっていくような練習にできればと思います。

そのためには、まず一人一人に音取りなどの不安がない状態を作ることが重要です。1 週間に 1 回の貴重な練習をより充実したものにするために、一人一人でできることから積み重ねて頑張っていくましよう!

☆通信担当より☆

今回のショコラ通信は、“演奏会をふり返って”特集にしました。

今回の演奏会の成果とこれからの課題を考えていただくために、久しぶりに「パトリ真語」も掲載しましたので、皆様よく読んでくださいね。

さて、これからのショコラ通信も「ショコラと私」と並行して、別の企画でも皆様に原稿依頼をしていきたいと思っています。「こんなテーマで皆さんのお話を知りたい。」というものがありましたら担当までお知らせください。

